

不安な時は電話診療を利用。家族のサポートで
リバウンドを乗り越えた方のお父様の手記

「地獄の症状から天国へ！潰瘍性大腸炎改善して います。」 匿名希望 19歳

2015年6月15日

(お父様の記述)

潰瘍性大腸炎を発症したのは2013年の1月でした。突然息子がトイレに何回も通っていると言うことを聞きました。確認すると赤い血便でした。すぐに、近くの病院へ行くと潰瘍性大腸炎だろうと言われ、より専門の先生がいる病院を紹介してくれました。学会で発表しているような先生でした。

早速 治療が始まりペンタサ8錠、プレドニン6錠、ラックビー、ガスター2錠。3ヶ月目からアザニン2錠が追加されました。薬を飲み始めてから順調にCRPは下がり、1ヶ月ごとにプレドニンを1錠ずつ減らしていきました。2013年5月30日の診察でプレドニンが2錠まで減りました。それまでに血便は止まり普通便になっていました。家族は安心して、食事や生活習慣がいい加減になっていました。

その後2013年6月になって、ちょっとしたストレスが原因で再発してしまい、血便が始まりました。実は1月からずっと、プレドニンとアザニンとガスターを飲んでいなかったのです。病院に行くと言われましたが、入院だけは避けたいと思い、「現在、プレドニンは飲んでいないが、今後は真面目に薬を飲みますので入院させないで欲しい」と頼みました。結果入院はしませんでした。プレドニン6錠、ペンタサ8錠を飲み始めることになりました。その結果、症状は治まり、毎月血液検査は安定して、プレドニンを一錠ずつ減らしていきました。2013年12月でプレドニンは切れました。その後2014年5月まで症状は出なかったが薬も減りませんでした。6月に入って大腸の内視鏡検査をすることになり予約を取りましたが、息子は内視鏡が嫌でストレスとなり、また血便が出始めました。

結局薬を飲んでも完治はしない、また病院に行っても同じことの繰り返しで、

副作用や病気と一生つき合っていくのか、なんとか助けてやりたいと思いネットで調べていくうちに松本医院のホームページにたどり着きました。松本先生の論文を読んで納得出来たので、意を決し岡山から大阪まで治療に行きました。先生は、「治すのは自分やで、漢方や薬、入浴剤は免疫力を高める助けをするだけ」と言われ自然治癒で治す。2014年6月4日から鍼灸治療と漢方薬が始まりました。

1年間、薬を飲み続けていたので、今までの体験談にあるようなステロイド使用によるリバウンドが気になっていましたが、予想通りリバウンドが始まりました。血便が続いて食事も出来ませんでした。処方されたエレンタールを飲みながら、痛みがあればベルクスロンを飲み、家では寝たきりの状態でした。見ているとステロイドを飲ませて早く楽にしてやりたいと思うくらい体が弱っていくようでした。心配になった時は、松本先生に電話しました。状況を伝えると的確に指示してくれましたので、不安ながら見守ることができました。10日位で血便が止まり、下痢になりました。トイレ通いで大変でした。

しかし1カ月位でリバウンドを乗り越えました。そのまま治療を続け、体力も回復していきました。家族の理解と助けがとても大切でした。その後7月、8月と続け、9月より作業所に半日行けるようになりました。体力も回復していきました。

まだはっきりしたクラススイッチはしていませんが2015年6月現在、漢方薬で体調維持しています。1日作業所に行っても便の回数は二回位で、ステロイドの副作用の心配も無く安心していきます。同じように潰瘍性大腸炎になっている人に松本医院を紹介しています。

最後まで読んでくださりありがとうございました。私の息子は自閉症があり、ストレスを受けやすい性格で、気持ちのコントロールができ難いですが、回復しています。